



優秀賞

(総合部門)

タイトル

住吉小山文化改修工事

タイプ

持家連続建

講評

関西に多く見られる「文化住宅」の、狭いメゾネットの改修。古い木造集合住宅での改修には既存不適格性にどう対応するかという問題が付きまとうが、本作品は限られた予算の中でバランスの取れた内容に仕上がっている。

リフォーム前後の写真



リフォーム前 ①



②



③



④



⑤

リフォームの動機 / 設計・施工の工夫点 / 施主の感想 など

- ・まったく光の入らない文化住宅。いかにして明るい居住空間をつくるかがテーマのリニューアルです。
- ・クライアントは60代の夫婦、結婚当時この文化住宅に住んでいました。定年後、この住宅に住む為に、明るく、使いやすい居住空間とするために改修を行いました。
- ・ベランダに面して吹き抜けをつくることで、1階まで光が入り明るい空間となりました。又空間に広がりができ、狭さを感じさせません。

- ・明るい空間をつくる為、壁は全て白い塗装としています。その中でも構造用合板にオイルステンをふき取りとし、木の目が表情となる壁と、プラスターボードの白い壁とで空間に変化をつけています。
- ・トイレ、収納以外は間仕切り・建具をなくし、一つにつながった空間としています。

特に配慮した住宅性能など：耐震補強 省エネルギー バリアフリー 住む人の健康 その他（ ）

データ

所在地	大阪府大阪市	構造 / 築後年数	在来木造 / 約40年
該当工事面積	54.50 m ²	該当部分工事費	500 万円
居住者構成	2 人 (大人 15歳以上)	2 人 (子供)	人 ペット
設計者	志柿敦啓建築設計事務所	担当者	志柿 敦啓 ・ 笠原 やよい
施工者	(株)中田工務店	担当者	中田 義成

リフォーム前

リフォーム後

